
幻と剣を統べる幻想

残虐な人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幻と剣を統べる幻想

【Nコード】

N8376Z

【作者名】

残虐な人

【あらすじ】

NARUTOに転生したぜ！

まあ、まず影分身でチート修行するぞ！

目指すは、幻術とブラッドレイの剣術で最強高速チートだ！

（サスケはアンチしまくりです！ナルトは分かりません！）

プロローグ（前書き）

処女作です！生温かいめでご覧ください！

プロローグ

俺は、テンプレトラックに轢かれ

テンプレな場所でテンプレなクソ爺に会ってます！

こうなればみんな分かりますよね？

そうです転生します。それもNARUTOの世界ですよ！テンション全壊です。もちろんチートも貰いました。（主人公紹介を見てください）

さて行くのでしょうか。

「じゃあ、行ってくるな」

そして、後ろですすり泣くクソ爺の声を無視して前に現れた扉をくぐった

その瞬間意識をうしなった。

（次の世界では、好き勝手生きるぞ！）

プロローグ（後書き）

！ 超少ないですが、これからでもできる限り更新するので見てください

主人公紹介（前書き）

随時更新して行くのでよろしくお願いします。

主人公紹介

主人公

名前

うちは ムクロ

性別 男 (前世の年齢16歳)

貰った能力

万華鏡写輪眼 (失明なし)

ハガレンのブラッドレイの戦闘経験

魔改造有幻覚 (正確には、万華鏡写輪眼と本人の想像力で超強力に補正されているだけ)

限界突破 (本人の認識で変わる、例えば、身体に限界がないと思えば身体能力が伸び続ける)

容姿

サスケとイタチを足して2で割り、落ち着きを持たせた感じ

性格

普段から落ち着いていて、大人っぽい。残酷だが、身内 (サスケを除く) や認めた人には優しい。

怒ると手がつけれない。まあまあシスコン

設定

サスケの弟に転生する。三歳の時、能力と記憶が戻るようになっている。

また妹もいる (転生者だけどNARUTO知らない) 超ブラコン (

主人公のほう

主人公紹介（後書き）

俺が思うほど良い最強チートです。

これですらギリ火影を瞬殺しなくて済みそうです。

まあ、本気でしたら瞬殺だけど

誕生と修行と妹

どうも〜転生した　うちは　ムクロです。

もう、転生してから5年経ちました。

なに？今まで何してたかって。

う〜ん、まず影分身しまくって、

チャクラを使いまくっ手チャクラ量増やして、

ついでにブラッドレイの剣術と有幻覚を完全マスターしました。（もち、万華鏡写輪眼も）

つか、剣術と有幻覚チートすぎ、だって剣術で木なんかスパスパ切れるし、

有幻覚なんか何でもできるし（何でも作れたよ、輪廻眼とか万華鏡写輪眼とか自分自身とか）

マジ怖いよ、強いよ

ここで報告です。

妹がいます！

いま4歳です、（転生者らしいけど原作知らないらしい）マジ可愛

いよ、だって、なんかわかんないけど

超懐いてるんだもん、どこに行くんでも付いてくるし、頭いいし、

ああ名前はリンね！

リンは俺が守る！（シスコン）

そうそう俺父さんと母さん嫌いだから

（イタチ兄さんに嫌ことやらしてるし！実力隠してる俺を見る目冷たいし）

うちの虐殺は介入しないよ、まあ、リンは守る（サスケはウザいからどっちでもいい）

誕生と修行と妹（後書き）

さて次は、
うちは虐殺です！
乞うご期待

うちはの終わりと始まり　なんちゃって(前書き)

どうしても短くなってしまおう
どうしよう

うちはの終わりと始まり　なんちゃって

ついにその日やって来ました。

そして、今血だらけのうちはにいます。怖いですね

うん？リンがどこにいるって、そりゃこんな危ないところには、いないよ

俺の有幻覚が森に連れてってよ。抜かりなし！

お！イタチ兄さんが来た、もうサスケぼこし終えたのかな？まあいい別れのあいさつでもするか。

「イタチお兄さん」

！！

「どうしたのそんな驚いちゃって」

「ムクロなんでそんなに落ち着いている！まあいいここで眠っていろ」

そう言ってイタチお兄さんは、高速で身値打ちをして来た。

でも影分身チートとブラットレイの剣術、限界突破で鍛えた俺には止まって見える。だから俺は簡単にかわし、後ろに回り込み、有幻覚で作り上げた二本の剣を兄さんの首に付けた。

！！

「う！力を隠してたのか？」

「さすがイタチ兄さん話が早い、そうだよ、だってクーデターに利

用されなくなかったもん」

「知っていたのか、もしや、なぜ俺がこんなことをしたのかもか？」

「そのとうりだよ、俺も殺すの？正直今戦えば勝率は五分だよ」

「いやお前はまだなんか隠してるだろ、それに俺にはお前たち兄弟は殺せない、だから木の葉を頼む」

「分かったよ兄さん、あとリンは、安全な場所にいるから心配しないで、じゃあまたね」

「ああ、また会おう」

あゝあ行っちゃったかゝ、少し寂しくなるな、まあリンとこれから頑張るか

うちはの終わりと始まり　なんちゃって（後書き）

これからリンを強くしていきます。

あとヒロインはリンです。

う？近親相姦、そんなの関係なしで行きます。

乞うご期待

史上最強の弟子リン

まあ、魔改造なんだけどね（前書き）

少し頑張りました。

史上最強の弟子リン まあ、魔改造なんだけどね

さて、ついにアカデミーに入学しました。

あとリンと一緒に入学したいとだだこねたからリンも一緒です。

でも、正直アカデミーのレベル低すぎる、だって忍術なんてほとんどしないし。忍びの心得とか、手裏剣

投げたりとかしか、しないんだもん。保育園と大差ないですね。

そこでリンには、俺が忍術を教えることにしました。リンもイタチ兄さんの真実を知って、これからは、

自分で自分自身と俺を守るんだとやる気を出していました。

そして今、修行をしています。方法としては、まず写輪眼を開眼してほしいので、幻術で精神世界に入れ

ひたすらギリギリの戦闘訓練をしています。

（正直心が痛いけど、これもリンの将来のためと思い心を鬼にします）

お！幻術が覚めたようですね。

「兄さんやりました。見てください」と言いながらほめてほめてと写輪眼を見せてきます。

「よくやりましたね。さすがは、俺の妹だ」とほめて頭を撫でてあ

げると犬や猫のように喜んでいます

（あゝ和む、お持ち帰りしていいかな？）と思ってしまいましたが、まだ一番重要なことが残っています。

「リンこれをもって、その所を押してみて」と言いながら拳銃を渡しました（幻術で分からなくした）

「はい！分かりました」そして押した瞬間、銃弾が俺を穿ちました。

「え、兄さん、なんで、なんで、兄さんーーーーー」

（あゝやば、罪悪感で死ぬそう）と思いながらその様子を少し見ってから立ち上がりました。

「リンどうしたの」

「え、兄さん、生きてるの、兄さんーーーー、もう死んだと思って、私死ぬほど絶望したんですからね」と泣きながら言われました。

「ごめん、ごめんこれには、理由があるんだ。鏡に映る自分の目を見て御覧」

「形が変わってる？」

「そうだよ、これがうちの誇る最強の目、万華鏡写輪眼だ。さっきのは、このためだよ」

「そうだったんですか、でもさっきのようなことは二度としないでください。次もしも、したら兄さんを 殺して私も死にます」

ウッソー、（かわいいな）じゃなくて、妹がリンがヤンデレ化してしまいました。

ショックなような嬉しいような、俺は変態か！とつつこみつつ

「もう二度としないから、そんなこと言わないで」と堅く誓いました。

さて解説です

私はリンに打たれて死にました。（その証拠でリンが万華鏡写輪眼に開眼）

なぜ生きているのでしょうか？

正解は

私の万華鏡写輪眼の右目の能力です。

名前は、夢現想

能力は、現実で起こった、あらゆる出来事を全て夢としてなかったことにするといったものです。

我ながらチートですね。

左目の能力もおいおい説明します

史上最強の弟子リン

まあ、魔改造なんだけどね（後書き）

疲れた〜死ぬ
誰か助けて〜

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8376z/>

幻と剣を統べる幻想

2011年12月27日01時54分発行